

# 大阪府商店街感染症対策等支援事業（需要喚起） 事業報告書（概要）

令和3年3月 大阪府商店街感染症対策等支援事業事務局  
 (大阪府商店街振興組合連合会・株式会社産経アドス共同企業体)

## 1. 事業総括

新型コロナウイルスと共存しながら社会経済活動を取り戻すため、日常生活を支える商店街とそこに訪れる府民の皆さまの不安を払拭し、安心して買い物をしていただけるよう、「みんなで守ろう。おおさか」をスローガンに、「新しい生活様式」を踏まえた「需要喚起の準備と実施」の様々な取組みを実施した。

- ① 本事業実施モデル商店街の選定（107商店街（単組158））
- ② 感染症対策を踏まえたイベント等実施マニュアルの作成・周知
- ③ 活性化のノウハウ等を有する商店街サポーター（専門家）の派遣
- ④ 国GoTo商店街事業と連動した取組みの支援
- ⑤ 特設ウェブサイトを開設しモデル商店街等の取組事例などを情報発信
- ⑥ モデル商店街及び来街者アンケート調査を実施

## 2. (1) 事業目的

新型コロナウイルス感染症拡大に伴うインバウンドの急減や外出自粛等の影響により、府内商店街はこれまでにない打撃を受けた。また、感染症クラスター発生日の周辺にある商店街などは、風評被害の影響もあって来街者・売上が激減した。さらに、「緊急事態宣言」発令時も、府民の日常生活を支えるため奮闘した商店街の経営は厳しさを増しており、今後、大阪の経済・雇用および府民生活への大きな影響が不可避となった。このため、府内商店街における需要喚起のための準備を進めるとともに、府内の人の流れと街の賑わいを創出し、大阪経済を再活性化するための事業を実施する。

## 2. (2) 事業スキーム



## 3. モデル商店街

(予定) 100商店街 → 107商店街選定 (158単組)

組織的に感染症対策に取り組む意欲が高く、回復期に賑わい創出に取り組む意向がある商店街等

- ① 雇用や府民の日常生活を守り大阪経済を支える商店街等
- ② 密集、風評被害、インバウンド減少など、特に影響を大きく受けている商店街等

## 4. スケジュール

R2. 5～7月	8～9月	10～12月	R3. 1～3月
▲委員会（1回） ▲モデル商店街募集・選定 イベント等実施マニュアル公表 ▲ ▲特設ウェブサイトオープン	▲委員会（2回） ▲モデル商店街巡回（需要喚起の予定確認等） ▲商店街向け説明会 ▲商店街サポーター候補者公募 ▲派遣依頼受付開始	▲委員会（3回） ▲需要喚起支援申請受付開始 ▲商店街イベント情報を掲載 ▲民間企業との連携告知	▲委員会（4回） ▲再派遣依頼受付開始 ▲広報記事（2回）（事業完了報告▲）
		▲委員会（5回）▲	▲商店街アンケート

## 5. 実施内容

支援業務メニュー等	実績
1 感染症対策を踏まえたイベント等実施マニュアル	1 107商店街（158単組）に周知
2 商店街サポーターの派遣	2
①-1 イベント等の企画・準備	①-1 79商店街（111単組）
①-2 イベント等実施の支援及び効果検証	①-2 31商店街（34単組）
②-1 国事業の一時停止に伴う事業計画変更	②-1 23商店街（31単組）
②-2 国事業の〈延長〉に伴う再準備	②-2 4商店街（9単組）
3 需要喚起の取組みの支援	3
① 上乘せ支援	① 21商店街（29単組）
② プレ事業の実施支援	② 1商店街（1単組）
4 情報発信（特設ウェブサイト等）	4
① ニュースリリース・商店街レポートのサイト掲載	① ニュース22件・レポート65件
② 広報記事作成・動画作成	② 記事2件・動画1種類
5 商店街選定・事業管理委員会の開催	5 5回開催
6 啓発素材使用承認（モデル以外への横展開）	6 2商店街（合計13商店街）
7 商工会議所・民間企業等との連携	7 商工会議所3件・企業2件

## 6. 目標・効果検証

(成果目標) 100商店街等組織で <b>需要喚起等実施</b>	107モデル商店街（158単組）で事業実施 (99商店街（138単組）が国事業に申請)
(効果検証) 商店街・来街者アンケート調査実施	需要喚起の組織的な取組みがなされており、持 続的な活性化への基礎作りにつながった